

日本都市学会ニュース NO. 41

2015. 12. 03

発行 日本都市学会 〒460-0008 名古屋市中区栄4-12-26 栄CDビル5A OASIS都市研究所内
 TEL 052-252-7741/FAX 052-251-5058
 郵便振替 00130-0-512255/三菱東京UFJ銀行栄町支店普通口座 0126767
 <e-mail>info@toshigaku.org <ホームページ>http://www.toshigaku.org/

日本都市学会第62回大会開催

日本都市学会第62回大会は、2015年10月30日(金)～11月1日(日)の間、上越市の直江津駅前のホテルハイマートを会場として、「新幹線を活かした地方都市のまちづくり」をテーマに開催されました。

雨模様の30日午後2時、「1614年高田城築城で造られた城下町高田の伝統的街並みと雁木景観」を視察するエクスカージョンで大会がスタートしました。上越市の各部局の担当者等による先導や説明を受けながら、大変意義深いエクスカージョンでした。

翌31日(土)9時から12時20分まで研究発表Ⅰとして、3つの会場で合計23件の発表がありました。

13時から2階鳳凰の間へ会場を移して、堂前亮平日本都市学会会長、戸所隆日本都市学会前会長、熊田俊郎関東都市学会会長による開会あいさつに続いて、大会テーマ「新幹線を活かした地方都市のまちづくり」によるシンポジウムに移り、最初に村山秀幸上越市長から基調講演があり、続いてパネルディスカッションが開催されました。

戸所隆高崎経済大学名誉教授・上越市創造行政研究所長による趣旨説明の後、同先生のコーディネートのもと、パネリストの石井晴夫東洋大学教授、櫛引素夫青森大学准教授、谷口守筑波大学教授の3氏からの報告と会場からの質疑を含めて熱心な討議がなされました。

16時45分から日本都市学会賞(奥井記念賞)、日本都市学会論文賞、日本都市学会特別賞の授賞式が



高田の雁木を視察するエクスカージョン参加者

行われ、引き続いて日本都市学会総会が開催されました。

18時から2階妙高の間で懇親会が開かれ、多くの会員、来賓が出席し、なごやかな時間を過ごしました。

翌11月1日(日)は、9時から研究発表Ⅱとして前日と同じ会場で27件の発表があり、熱心な討議が行われました。12時45分にはすべての大会スケジュールが終了しました。

今回の研究発表数は総計50件でした。参加者数は166人で、このうち一般参加者は57人ありました。エクスカージョン参加者は33人、懇親会参加者は67人でした。

残念ながらお天気にはやや恵まれませんでしたが、すべての会場がホテルの2階と3階に集約され、移動の容易なコンパクトな会場配置であり、また、上越市の皆さんはじめ地元の皆さんのおもてなしが肌で感じられる素晴らしい大会でした。

主催の関東都市学会、共催をいただいた上越市、後援をいただいた(公社)上越観光コンベンション協会はじめ関係各位に厚く御礼申し上げます。

2015年度総会報告

2015年度総会は、10月31日(土)17時15分からホテルハイマート2階鳳凰の間で開催され、熊田俊郎関東都市学会会長を議長に選出して以下の5議案が審議されました。いずれも異議なく原案どおり議決されました。

なお、年報の刊行時期が、論文等の提出締切時期に対してかなり遅いこと、および奥付と実際の刊行日時と大幅にずれていることについて、質問と指摘がありました。これについては、年報編集担当において、早期発行に努めることとし、実際の発行時期と奥付の関係についても検討することになりました。

また、大会時のエクスカージョンについて、年報にその内容等を掲載すべきではないか、との意見があり、年報担当において検討することになりました。

また引き続き3件の報告がなされ、いずれも承認されました。

- 議案1 2014年度事業報告
- 議案2 2014年度決算

- 議案3 2015年度事業計画
- 議案4 2015年度予算
- 議案5 2015年度理事の承認
- 報告1 2015年度日本都市学会賞等について
- 報告2 日本都市学会第63回大会について
- 報告3 日本都市学会会員数の状況

2014年度事業報告

(1)日本都市学会第61回大会の開催

開催日時 2014年10月24日・25日・26日
 開催学会 近畿都市学会
 開催都市 京都市
 大会テーマ 「都市・文化・まちづくりー新しい都市学の成立をめざしてー」

(2)日本都市学会年報の発行

VOL.47 「地方都市の国際化・国際交流」(2014年5月31日発行)

(3)編集・学術委員会の開催

第1回 2014年10月26日 編集作業の確認等
 第2回 2014年12月12日 担当編集委員等の決定

(4)学会賞の選定

2014年4月30日 推薦等締め切り
 2014年9月7日 選考委員会開催、同日第2回理事会において決定
 2014年10月25日 大会において授賞式

(5)日本都市学会総会の開催

2014年10月25日

(6)理事会および常任理事会の開催

第1回理事会(2014年6月8日)
 ①常任理事および理事の変更、交替、②2013年度事業報告・決算案、③2014年度事業計画・予算案、④論文審査事務局報告、⑤年報事務局報告、⑥学会賞事務局報告、⑦第61回大会報告、第62・63回大会予定、⑧2015・2016年度会長選挙、⑨その他
 第2回理事会(2014年9月7日)
 ①第60回大会について、②学会賞、論文賞の選考について、③年報事務局報告、④論文審査事務局報告、⑤第61回大会について、⑥60周年記念事業について、⑦学会賞関連規程の見直しについて、⑧その他
 第3回理事会(2014年10月24日)
 ①理事の辞任、②第61回大会について、③学会賞事務局報告、④年報事務局報告、⑤論文審査事務局報告、⑥会員の退会処分の取り消し、⑦会長選挙について、⑧その他

第4回理事会(2014年11月10日)メール審議
 ①論文審査委員会委員の選任

第1回常任理事会(2015年3月22日)
 ①分散事務局報告、②2014年度事業報告案・決算見込み、③2015年度事業計画・予算案、④62回大会予定、⑤その他

(7)日本都市学会会長選挙の実施

第1回投票(8月31日締切)、第2回投票(9月17日締切)を実施

(8)日本都市学会ニュースの発行

日本都市学会ニュースNo.38 2014年7月10日
 日本都市学会ニュースNo.39 2014年11月30日

(9)新しい都市学を考えるWG

各地域都市学会で検討

2014年度決算

(自2014年4月1日 至2015年3月31日)

収入の部

(円)

科目	予算	決算
学会会費(当該年度分)	2,000,000	1,945,600
学会会費(過年度分)	0	0
年報売上等	630,000	856,100
雑収入	70,000	75,551
前年度繰越金	997,353	997,353
計	3,697,353	3,874,604

支出の部

(円)

科目	予算	決算
大会関係費	400,000	400,000
理事会・常任理事会関係費	700,000	679,448
論文審査委員会関係費	100,000	42,554
年報関係費	1,150,000	1,253,133
(VOL.47)	(1,050,000)	(1,205,117)
(VOL.48)	(100,000)	(48,016)
学会賞関係費	150,000	98,883
事務局経費	500,000	395,323
備品費	10,000	0
雑費	60,000	9,000
予備費	627,353	0
次年度繰越	0	996,263
合計	3,697,353	3,874,604

2015年度事業計画

(1)日本都市学会第62回大会の開催

開催日時 2015年10月30日・31日・11月1日
 開催学会 関東都市学会
 開催都市 新潟県上越市
 開催テーマ 「新幹線を活かした地方都市のまちづくり」

(2)日本都市学会年報の発行

VOL.48 「都市・文化・まちづくりー新しい都市

学の成立をめざしてー」(2015年5月発行)

(3)編集・学術委員会の開催

- 第1回 2015年10月 編集作業の確認等
第2回 2015年12月 担当委員および査読者の決定等

(4)日本都市学会賞の選定

- 2015年4月30日 推薦等締め切り
2015年9月6日 選考委員会開催、同日第2回理事会において決定
2015年10月31日 大会において授賞式

(5)日本都市学会総会の開催

2015年10月31日

(6)理事会および常任理事会の開催

- 第1回理事会(2015年6月7日)
常任理事の指名、2014年度事業報告・決算案、2015年度事業計画・予算案、第61回大会報告、第62回大会予定、各事務局からの報告他
第2回理事会(2015年9月6日)
2015年度学会賞・論文賞等の決定、第62回大会予定、各事務局からの報告他
第3回理事会(2015年10月30日)
総会提出議案の決定、第62回大会直前確認事項、第63回大会予定、各事務局からの報告他
第1回常任理事会(2016年3月20日)
2015年度事業報告・決算見込み、2016年度事業計画・予算案等、第62回大会報告、第63回大会予定、各事務局からの報告他

(7)日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス

日本都市学会ニュースNo.40 2015年7月
日本都市学会ニュースNo.41 2015年11月

(8)新しい都市学を考えるWG

第63回大会において着地を図ることを目標にまとめる

2015年度予算

(自2015年4月1日 至2016年3月31日)

収入の部

科 目	2014年度	2015年度
学会会費(当該年度分)	2,000,000	2,000,000
学会会費(過年度分)	0	0
年 報 売 上 等	630,000	630,000
雑 収 入	70,000	70,000
前 年 度 繰 越 金	997,353	996,263
計	3,697,353	3,696,263

支出の部

科 目	2014年度	2015年度
大 会 関 係 費	400,000	400,000
理事会(常任理事会)関係費	700,000	700,000

論文審査委員会関係費	100,000	100,000
年 報 関 係 費	1,150,000	1,150,000
(VOL.48)	(1,050,000)	(1,050,000)
(VOL.49)	(100,000)	(100,000)
学 会 賞 関 係 費	150,000	150,000
事 務 局 経 費	500,000	500,000
備 品 費	10,000	10,000
雑 費	60,000	60,000
予 備 費	627,353	626,263
合 計	3,697,353	3,696,263

2015年度第2回理事会

第2回理事会は、9月6日(日)13時30分～16時、名古屋都市センター第1会議室で開催され、堂前亮平会長、千葉昭彦、熊田俊郎、井上繁、西野淑美、林上、碓井照子、久隆浩、山崎健、寺谷亮司、豊田哲也、浅見良露の各理事、田淵義英、土居洋平、磯部友彦、大塚俊幸、小長谷一之、外井哲志の各常任理事、戸所隆大会担当、杉野尚夫本部事務局長が出席しました。

議事の概要は以下のとおりです。

(1)学会発表のルールについて

大会における研究発表について、同一人から内容の異なる2件の発表申込があったことについて、ルールをどうするか議論が行われました。これまで、規定がなかったことから、今回は2件の発表を認めるが、次回以降については、1件に限定する方向で、次回大会担当の中部都市学会においてルール原案をつくって理事会で議論することになりました。

(2)第62回大会について(関東都市学会)

大会プログラム案が提出され、原案が了承されました。9月下旬には会員あて送付することが報告されました。研究発表件数は51件、現時点での参加者数は約100人との報告がありました。

(3)学会賞事務局報告(学会賞担当事務局)

学会賞担当事務局および、学会賞(奥井記念賞)選考委員会委員長および論文賞選考委員会委員長より選考結果が報告され、理事会で原案通り承認されました。

(4)年報事務局報告(年報担当事務局)

年報事務局より年報48号の編集経過および見積金額が報告されました。発行の遅れに対する質問があり、編集中のトラブルの件が報告されました。

(5)論文審査事務局報告(論文審査担当事務局)

次号年報への投稿要項案が示され、原案どおり了承されました。主要改正点は、従来、規定のなかった無審査論文に投稿できる論文が、大会発表を前提とすることが決められました。

(6)総会議案

総会議案が提示され、原案了承されました。

(7)その他

1)第63回大会について (中部都市学会)

第63回大会を愛知県岡崎市で開催することについて、経過報告とプログラムの概要の報告がありました。

2)論文審査委員会委員の選出について

近畿都市学会から、論文審査委員会の委員について地域バランスがとられていないとの指摘があり、論文審査委員に地域バランスが必要かどうかが議論されました。理事の多くは、地域性は不要との見解を示しましたが、会長裁定で、当面、現委員の一部を交替させることで、地域バランスをとることを検討することになりました。

2015年度第3回理事会報告

第3回理事会は10月30日(金)18時30分~20時、直江津学びの交流館2階多目的ホールA・Bで開催され、堂前亮平会長、増田聡、千葉昭彦、熊田俊郎、井上繁、西野淑美、林上、井澤知旦(代理)、碓井照子、久隆浩、山崎健の各理事、森傑、田淵義英、土居洋平、磯部友彦、大塚俊幸、小長谷一之、由井義通、外井哲志の各常任理事、高山正樹監事、戸所隆大会担当、杉野尚夫本部事務局長が出席しました。議事の概要は次のとおりです。

(1)第62回大会について (関東都市学会)

大会開催準備の経過、翌日からの日程等について報告がありました。

(2)学会賞事務局報告 (学会賞担当事務局)

学会賞授賞式に読み上げる選考理由書について原案どおり了承されました。また、次年度の学会賞等選考日程について報告がありました。

(3)年報事務局報告 (年報担当事務局)

年報第48号の作成経過および経費について報告がありました。

(4)論文審査事務局報告 (論文審査担当事務局)

論文審査委員会委員の一部交代について原案どおり承認されました。また、今後の委員選出の具体的方法について、確認がなされました。

(5)第63回大会について (中部都市学会)

第63回大会の開催計画について報告がありました。

(6)総会議案

総会議案について事務局原案どおり総会に提出することで、了承されました。これに関連して高山監事から、監査に関連して会員数の増加方策を検討する必要性について提言がありました。これについては、とりあえず事務局にて検討の方法等を考えることになりました。

2015年度日本都市学会賞等決まる

2015年度第2回理事会において、2015年度日本都市学会賞(奥井記念賞)には佐藤彰男氏(近畿)、日本都市学会論文賞には蟻正慎介氏(九州)、久木元美琴氏(中四国)、日本都市学会特別賞(学術共同研究賞)は近畿都市学会、日本都市学会特別賞(まちづくり賞)は森傑氏(北海道)に決まりました。

授賞式は、2015年10月31日、日本都市学会第62回大会の場で行われ、堂前亮平会長から賞状等が手渡され、引き続いて各受賞者からスピーチがありました。

日本都市学会賞 (奥井記念賞)

佐藤彰男著『バングラデシュの船舶リサイクル産業と都市貧困層の形成』明石書店、2014.9.30発行、近畿都市学会推薦

(選考理由)

本書は、非近代産業部門に属し、都市型工業の典型である船舶リサイクル産業の労働者に着目し、発展途上国であるバングラデシュの都市下層社会の形成過程を解明しようとしたものである。これまで発展途上国の非近代産業部門をめぐる議論は、インフォーマルセクター論に代表されるように、主として販売やサービス業などの第三次産業に重点が置かれてきた。そうした中、本書では工業的な部分を中心に船舶リサイクルに関連する多様な労働について、経営者や労働者へのインタビューにもとづき職種ごとにその実態を詳細に明らかにした労作である。

バングラデシュの船舶リサイクル労働者という限られた対象への調査にもとづく研究ではあるものの、労働に対する詳細な調査により発展途上国の下層社会の実態を明らかにした実証研究として高く評価されるものである。

日本都市学会論文賞

受賞者: 蟻正慎介、論文『ネットワーク分析による都市観光の周遊構造と観光の満足度に関する研究—福岡市を事例として—』日本都市学会年報46号、2013年5月発行

(選考理由)

本論文は、観光客の立ち寄り行動をアンケート調査によって明らかにし、ネットワーク分析によって観光周遊行動の特性を分析・考察している。多数の調査対象者からアンケートを収集し、緻密なモデル構築によってネットワーク構造の分析を行っている

点が評価に値する。立ち寄り行動や満足度評価などによって、観光施設をメインとサブに分類し、利用特性と周遊構造、満足度の関係について計量的に分析した結論は、今後の観光計画にも資することだろう。

受賞者：久木元美琴、論文『東京都における認可外保育所の供給格差と自治体独自事業の役割－「足立区小規模保育」の利用実態調査を中心に』日本都市学会年報46号、2013年5月発行

(選考理由)

本論文は、前半で東京都全域における認可外保育所の実態を定量・空間分析でマクロに把握し、後半で足立区に焦点を絞りその利用実態をミクロに分析を行っているが、いずれも丁寧なデータ収集と分析に基づいて「準市場」的な保育の可能性を考察しており、テーマや結論が時宜にかなったものとなっている。一時資料に基づく精緻な分析と待機児童問題への対応としての民間認可外保育所の政策的位置づけの可能性を論じた点が評価に値する。

日本都市学会特別賞（学術共同研究賞）

近畿都市学会編『都市構造と都市政策』古今書院、2014年3月31日発行

(選考理由)

本書は、近畿都市学会が創立55周年にあたり、21世紀の都市づくりを見据えた都市研究成果を学会の総力を挙げて世に送り出したものである。2008年に刊行された『21世紀の都市像』に続くものであり、本書は「都市構造」を共通のコンセプトに据えて全体を構成している。近畿都市学会会員が、多方面から都市の姿を描き、今後の変化と取り得べき政策について体系的に論じたものである。経済・経営、都市計画、地理と多岐にわたり、全29章からなる多彩な内容となっており、また、各章の内容がコンパクトにまとめられており、読者の興味に合わせて、どこからでも読み進めることができる。内容に触れると、都市の諸問題として、都市の郊外化と空洞化、中心市街地問題、コンパクトシティ、アクティブシニアへの対応などが論じられている。セクター別には、大阪の経済的な地盤沈下の観点からブランチ・プラント型経済の限界やクリエイティブ産業の誘致の重要性が語られている。また、文化、観光、歴史資産、福祉などの政策面から、まちづくりが語られ、最後に行政の在り方や英国を中心とした海外の都市政策が論じられている。本書は、各分野の専門家が、それぞれの分野の問題を論じること

によって、都市を多面的にとらえることに成功しており、都市の研究者のみならず一般の読者にとっても、都市問題を総合的に理解するうえで手助けとすることができる良書である。

都市政策や都市構造研究の専門家のみならず、自治体職員も含めて幅広い人々に読まれることが期待される著作であり、学会が編集した出版物として意義あるものとして評価できる。

日本都市学会特別賞（まちづくり賞）

受賞者：森傑、活動名『気仙沼市小泉地区の集団移転と復興まちづくり活動』

(選考理由)

受賞対象となったまちづくり活動は、東日本大震災で被災した気仙沼市小泉地区の住民とともに、集団移転へ向けての合意形成・意志決定に関わるワークショップの実施や、その過程で得られたニーズや知見に基づく住宅地のプランニングを中心に、継続的に実施している復興まちづくり活動である。本学会会員の森傑氏による提言「集団移転は未来への贈り物」のビジョンのもと、現在も継続してコミュニティの再生へ向け邁進している。

この取り組みの成果は、森氏の監修による書籍『大好きな小泉を子どもたちへ継ぐために－集団移転は未来への贈り物』にまとめられ、2013年6月に公刊された。同書には東北被災地の他の地域における協議会型の集団移転における合意形成や意思決定、国内外における住民参加型の復興まちづくり、南海トラフ等の大規模災害に備えた事前対策・事前復興などを進めるに際して極めて示唆に富んだ内容が含まれている。

以上のことから、気仙沼市小泉地区の集団移転と復興まちづくり活動に対して中心にかかわった森傑氏を日本都市学会特別賞（まちづくり賞）に値するものと判断した。

第63回大会は岡崎市で開催します

第63回大会は岡崎市で下記のように開催する予定です。詳細が決まり次第ホームページに掲載してまいります。会員の皆様にはスケジュールの調整をよろしくお願ひします。

開催学会 中部都市学会
開催都市 愛知県岡崎市（岡崎市図書館交流プラザ「りぶら」）
開催時期 2016年(平成28)10月28日～月30日
大会テーマ「地方創生と観光まちづくり」(案)

日本都市学会年報VOL.48が発行されました

日本都市学会年報VOL.48は、10月に発行され、会員各位へ送付されました。本号は、特集「都市・文化・まちづくりー新しい都市学の成立をめざしてー」で京都大会の基調講演、シンポジウムなどの内容が収録され、査読付き論文30編、研究論文4編、学会の諸記録などが掲載されています。

学会員以外でもご希望の方には1冊3,000円でお頒けしております。注文は年報担当事務局まで。

2016年度学会賞等を募集します

2016年度の学会賞（奥井記念賞）等の募集が始まります。2月下旬に、学会賞担当事務局から各地域都市学会事務局あてに推薦依頼をお送りします。各地域都市学会では、現物5部および推薦理由を沿えて4月末日までに学会賞担当事務局まで送付して下さい。

6月上旬から選考委員の選考作業が開始され、9月開催予定の選考委員会で選考結果をとりまとめ、理事会において決定されます。

2015年度論文審査委員会委員決まる

- 委員長 山下博樹(都市地理学・中四国)
- 副委員長 久 隆浩(都市計画・近畿)
- 委員 鹿嶋 洋(経済地理学・中部)
- 委員 寺町賢一(都市交通・交通計画学・九州)
- 委員 米本 清(都市・地域経済学・関東)
- 委員 齊藤綾美(都市社会学・東北)

2015年度日本都市学会役員(10.31現在)

- 会長 堂前亮平 (九州)
- 理事 増田聡 (東北)、千葉昭彦 (東北)、熊田俊郎 (関東)、井上繁 (関東)、西野淑美 (関東)、林上 (中部)、井澤知旦 (中部)、碓井照子 (近畿)、久隆浩 (近畿)、山崎健 (近畿)、寺谷亮司 (中四国)、豊田哲也 (中四国)、堤昌文 (九州)、浅見良露 (九州)
- 常任理事 森傑 (北海道)、田淵義英 (東北)、土居洋平 (関東)、磯部友彦 (中部)、大塚俊幸 (中部)、小長谷一之 (近畿)、由井義通 (中四国)、外井哲志 (九州)
- 監事 檜楨貢 (関東)、高山正樹 (近畿)
- 事務局長 杉野尚夫 (中部)

分散事務局

本部事務局 (中部都市学会)
460-0008 名古屋市中区栄4-12-26
栄CDビル5A OASIS都市研究所内
TEL 052-252-7741 FAX 052-251-5058

- 事務局長：杉野尚夫
e-mail：info@toshigaku.org
- 年報担当事務局 (関東都市学会)
〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698
駿河台大学法学部 熊田俊郎研究室
TEL・FAX 042-974-7001 (直通)
責任者：熊田俊郎
e-mail：tkumada@surugadai.ac.jp
- 学会賞担当事務局 (中四国都市学会)
739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1
広島大学大学院教育学研究科社会認識教育研究室
内 責任者：由井義通
TEL・FAX 082-424-6804
e-mail：yyui@hiroshima-u.ac.jp
- 論文審査担当事務局 (九州都市学会)
〒819-0395 福岡市西区元岡744番地
九州大学大学院工学研究院環境都市部門 (土木)
責任者：外井 哲志
TEL 092-802-3410 FAX 092-802-3361
e-mail：toi@civil.doc.kyushu-u.ac.jp

地域都市学会事務局

- 北海道 062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1
都市地域 札幌大学女子短期大学部経営学科小山山研
学 究室内 TEL 011-852-9342 (直通)
<e-mail> koyama-s@sapporo-u.ac.jp
- 東北 970-8034 福島県いわき市平上荒川字
都市学会 長尾309
福島工業高等専門学校コミュニケーション
情報学科田淵義英研究室気付
TEL 0246-46-0850
<e-mail> tabuchi@fukusima-nct.ac.jp
- 関東 112-8606 東京都文京区白山5-28-20
都市学会 東洋大学社会学部社会学科西野淑美研究
室内
TEL 03-3945-7453/FAX 03-3945-7453
<e-mail> y_nishino@toyo.jp
- 中部 487-8501 春日井市松本町1200番地
都市学会 中部大学人文学部大塚研究室内
TEL 0568-51-9107/FAX 0568-52-0622
<e-mail> chubutoshi@isc.chubu.ac.jp
- 近畿 〒599-8531 堺市中区学園町1-1
都市学会 大阪府立大学経済学研究科綿貫研究室
TEL/FAX 072-428-1761
<e-mail> kinkitoshi@mbn.nifty.com
- 中四国 739-8524 東広島市鏡山1-1-1
都市学会 広島大学大学院教育学研究科社会認識教
育学研究室内
TEL 082-820-2345/FAX 082-820-3724
<e-mail> yyui@hiroshima-u.ac.jp
- 九州 839-8502 福岡県久留米市御井町1635
都市学会 久留米大学経済学部・文化経済学科 畠
中昌教研究室内
TEL 0942-43-4411/FAX 0942-43-4797
<e-mail> masahata.kurume.univ@gmail.com